

## 編集後記

2013年度も、国際平和ミュージアムは多岐にわたる活動を行ってまいりました。

2013年は学徒出陣から70年の年でした。大学という教育の場が、国家を補完する装置として、多くの若い学生たちを戦場に送り出し、戦争の加害に加担した責任は決して忘れられてはならないものです。大学教育に関わる人間の一人として、そのことを深く自覚したいと思います。

国際平和ミュージアムでは、8月の土曜講座で学徒として戦場に送られた岩井忠熊名誉教授、芝田徳造名誉教授にご講演をいただき、多くの聴衆に戦争体験の「語り」を行なっていただきました。語り継がれなくてはならないもの、忘れられてはならないものを多くの貴重な資料とともに伝えてゆく平和博物館としての使命を新たに感じた年でもありました。

現在、安倍首相の靖国参拝をはじめ、東アジアの緊張を高める行動に世界から懸念が寄せられています。このようなときこそ、過去の加害責任を誠実に直視し、協調的な未来を創り出す努力が必要です。2014年度も、国際平和ミュージアムの展示活動にご注目ください。

編集委員長（国際平和ミュージアム副館長） 加國尚志

### 投稿へのお誘い

- 立命館平和研究—立命館大学国際平和ミュージアム紀要—では、以下にあげるような、広義の平和に関する研究論文又は学術実践報告の投稿を求めます。
  - ・平和に関する学術研究
  - ・平和に関する教育実践報告
  - ・博物館活動
  - ・博学連携
- 種類と分量  
掲載記事の種類と分量は、下記のとおりとし、編集委員会で決定、または承認されたものとしします。  
フォーマットは40字×30行とします。

①論文	12,000字～40,000字
②資料紹介	4,000字～20,000字
③研究ノート	4,000字～16,000字
④書評	4,000字～ 8,000字
⑤調査・研究	4,000字～20,000字
⑥実践報告	4,000字～20,000字
⑦研究展望	4,000字～12,000字
⑧時評・コラム	4,000字～ 6,000字
- 言語  
原則として日本語、横書き、テキスト形式によるもの。  
英文の原稿については、事前に編集委員会にご相談ください。
- スケジュール  
7月第1土曜日…原稿応募申込締切り  
以下の情報をファックス又は郵送（ファックス書面又は封筒に朱書きで「立命館平和研究」応募と明記すること）
  - ①論文の題名（仮題でも可）、②種類、③日本語要旨、④分量

↓

9月末日…原稿締切り

※受取方法：郵送のみ。封筒に朱書きで「立命館平和研究原稿在中」と明記すること。

※提出物：完成原稿と日本語要旨（200字程度）と英語タイトルと英語要旨（250字程度）を印刷とデジタルデータで提出。

↓

3月上旬…刊行（予定）
- 投稿原稿については、編集委員会が審議し、掲載、一部書き直し、返却（掲載不可）などの結果を原稿締切り後3ヶ月以内に投稿者に連絡します。
- 二重投稿はお断りします。
- 論文に画像を掲載するなど、著作権許諾が必要な記事については投稿者が責任を持って許諾を得ること。
- 備考  
原稿料はお出ししません。  
掲載原稿1編につき、本誌5部、抜刷りを30部進呈します。
- 原稿提出先・お問合せ先  
立命館大学国際平和ミュージアム  
立命館平和研究編集委員会  
〒603-8577 京都市北区等持院北町56-1  
TEL：075-465-8151 FAX：075-465-7899